

事務事業マネージメントシート

作成日 平成26年 05月 15日

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動）			⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移										
25年度実績 44名（真岡38名、茂木2名、益子2名、芳賀2名） 〔申請方法〕児童デイサービスの支給申請　本人状況調査　支給量（日数）決定　受給者証交付　利用申込　保護者が施設（事業者）と契約　利用開始			名称		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)			
			ア：通園ホーム利用申請者数		人	34	39	44	44	46			
			イ：										
			ウ：										
			エ：										
			オ：										
26年度計画 法改正によるサービス内容の変更に対応する。 〔申請方法〕障害児通所支援の支給申請　本人状況調査　支給量（日数）決定　受給者証交付　利用申込　保護者が施設（事業者）と契約　利用開始			⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移										
芳賀都市内障がい児（小学生以下）とその保護者			名称		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)			
			ア：芳賀都市内障がい児数（小学生以下）		人	180	163	180	175	180			
			イ：										
			ウ：										
			エ：										
			オ：										
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか）			⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移										
障がい児の運動機能等の向上及び生活習慣の習得、保護者に対してのアドバイス及び心理的な支援			名称		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)			
			ア：通園ホーム利用者数		人	34	39	44	44	46			
			イ：										
			ウ：										
			エ：										
			オ：										
④結果（どんな結果（上位施策）に結びつけるのか）			⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移										
精神的、身体的、経済的に自立してもらう。積極的に社会参加をしてもらう。			名称		単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)			
			ア：生活習慣等が向上した障がい児の割合		%	100	100	100	100	100			
			イ：										
			ウ：										
			エ：										
			オ：										
(2) 総事業費の推移			単位	22年度(実績)		23年度(実績)		24年度(実績)		25年度(実績)		26年度(見込)	
投 入 量	事業費	国庫支出金	千円	0		0		0		0		0	
		県支出金	千円	0		20,000		0		0		0	
		地方債	千円	0		0		0		0		0	
		その他	千円	11,253		11,670		16,335		16,366		0	
		一般財源	千円	4,386		34,233		2,059		3,034		0	
事業費計（A）			千円	15,639		65,903		18,394		19,400		0	
人 件 費	正規職員従事人数	人	1		1	1		1		1		0	
		延べ業務時間	時間	25		25		25		25		0	
		人件費計（B）	千円	107		106		105		102		0	
トータルコスト(A)+(B)			千円	15,746		66,009		18,499		19,502		0	
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等													
①この事務事業を開始したきっかけは何か？いつごろどんな経緯で開始されたのか。			障がいをもった児童に対する療育訓練を実施するため、昭和51年10月開始										
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？			・当初は、母子通園ホームとして発足。障がい児を持つ親子が訓練を受けることにより障がいの軽減や親の心理的負担の軽減を目指した。15年4月の支援費制度のスタートにより、児童デイサービスとして事業所指定を受ける。18年4月の障害者自立支援法の施行により、児童デイサービスとして事業所指定を受ける。現施設は、旧長田分校（S44年建設）の木造校舎を利用しているため老朽化が激しく修繕費もかさんでいるので、平成23年度中に旧コンピュータ・カレッジ施設への移転準備を行い、平成24年4月に旧コンピュータ・カレッジ施設に移転完了。（旧真岡コンピュータ・カレッジ改修工事費57,175,000円の内ひまわり園移転費用50,181,600円）H25年から名称が子ども発達支援センターになった。 ・平成25年4月から「障害者自立支援法」が「障害者総合支援法」となった。 ・平成25年4月から「心身障害児通園ホーム」が「こども発達支援センター」となった。										
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？													

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか? ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 障がいを持った児童に対し、就学前から訓練を実施することは障がい児の自立と社会参加の支援に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか? ・税金を投入して達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 障害者総合支援法に定められているので妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか? ・意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 障害者総合支援法に定められているので適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか? ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか? ・何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 障害者総合支援法に基づく該当者は、全員入園して適切な訓練を受けているので向上の余地はない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 障害者総合支援法に定められているので、廃止・休止はできない。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか?	<input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか?	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 障害者総合支援法に基づいて実施しているので、削減の余地はない。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 必要最小限の人員で事務処理をしているので、削減できない。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか? ・受益者負担が公正・公平になっているか?	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 障害者総合支援法に定められているので、公平・公正である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画） <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し (<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								

4. 事務事業の2次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足（説明責任不充分） <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(2) 2次評価者としての評価結果 <table border="1"> <tr> <td>①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td><td>②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td><td>④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td></tr> </table>	①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																												
③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																												
		コスト																											
		削減	維持	増加																									
成果	向上																												
	維持																												
	低下																												
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）																													
(4) その他2次評価会議で指摘された事項																													